

環境年報 2021

Environmental Annual Report 2021



アスカコーポレーション 株式会社

目次

<目次>

- ◆ 目次 1
- ◆ ご挨拶 2
- ◆ 会社概要・沿革 3
- ◆ 環境方針 4
- ◆ 環境マネジメント 5
- ◆ 環境目標 6
- ◆ 環境負荷実績 7
- ◆ 法令順守 8
- ◆ 責任ある鉱物調達への対応 9
- ◆ 地域との調和（コミュニケーション） 10～11
- ◆ 年次とぴっくす 12～13
- ◆ SDG s の取り組み 14



<表紙写真>



【表紙の写真】 遠賀川地域防災施設（遠賀川水辺館）

福岡県直方市にある遠賀川水辺館は、遠賀川の洪水被害の歴史を伝え、災害（洪水）から身を守る治水の大切さや、豊かな河川環境の保全、河川愛護活動の啓発を目的として、平成16年10月に遠賀川と彦山川の合流点に開館しました。屋上は展望フロアとなっており、雄大な福智山と遠賀川を見ることが出来ます。当社は、その自然を大切に、企業として責任を持って環境保全活動を進めて参ります。

■ 編集解説

- 1) 「環境年報2021」は、当社の環境活動の取り組みと成果を、年次報告として取りまとめたもので今回が7回目の発行となります。
- 2) 活動の実績は2020年度（2020年6月～2021年5月）を示しますがデータについては一部以前からの活動と直近の活動実績も含んでおります。（表紙の西暦年号は発行年を表しています）
- 3) ご参考までに2020年度は弊社事業年度で第51期にあたります。

本小冊子が「弊社環境活動」のご理解の一助にでもなれば幸いです。

ご挨拶

お元気様です！

皆様、こんにちは。

日頃より大変お世話になりまして誠にありがとうございます。
当社は「自然との調和」を基調に、未来技術をアシストする
表面処理業として時代を常にリードし続け社会と暮らしに、
陰ながら貢献してまいりました。

「環境はあらゆる生命の母胎であり、存続の基盤」と受け止め
一人ひとりが環境の有限性を深く認識し、事業活動や日常活動が
環境負荷の少ないものへ、持続的発展が可能な社会となるよう
取組を通じて、地球環境の保全に貢献していく所存です。

今後ともアスカコーポレーションの「環境諸活動」にご理解を頂き、
ご支援とご協力のほどをよろしくお願い申し上げます。



2021年11月
アスカコーポレーション株式会社
代表取締役社長 阪文孝

■ 経営理念

キラリ 人、技術、未来 そして自然

人が輝き、技術が輝く、そして未来を輝かせたい。
またキラリ輝くアスカの表面処理技術によって、
ユーザー商品の品質と未来技術を支え、企業として
永続的に輝き続けたいのです。

■ 経営方針

- 夢技術の創造
- 人、くらし、心を創る
- 未来社会を支える

■ 行動指針

- モノの未来を見つめ可能性にチャレンジ
- アーティスト集団となる
- クリーン&ビューティー
- 早くそして気持ちよく安心して満足を
- サンキュー&ハート
- 人と個性を大切に

会社概要・沿革

◆ 会社概要

名称	アスカコーポレーション株式会社
所在地	〒822-0007 福岡県直方市大字下境字黍田427-8
設立年	昭和46年1月18日
資本金	3,200万円
代表	取締役社長 阪 文孝
規模	敷地面積 8,337 m ² 建屋面積 3,009 m ² 延床面積 6,726 m ²
従業員	135名 (2020-12-1 現在)
業種	金属表面処理業 (めっき処理) (リードフレーム全面銀、Pdフープ、 セラミック振動子搭載基板へのめっき 外装フープ、UBM、バックメタル)



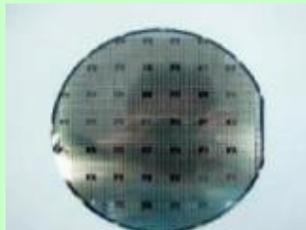
<アスカコーポレーション工場全景>

【加工製品群】

リードフレーム



半導体ウエハ表面処理めっき



◆ 会社沿革

- 1971 OMRON(株)様の要請により直方市に進出、(株)上田鍍金工業所として独立
- 1975 自動車部品の亜鉛めっきライン設置
- 1985 第3工場完成 IC用めっきライン設置
- 1989 第4工場建設 ICスポット銀 P-Niライン設置
- 1993 社名変更「アスカコーポレーション 株式会社」
- 1998 新建屋完成 Pdフープライン、Auライン導入
- 1999 ISO9002認証取得
- 2001 中国(蘇州)進出(蘇州飛鳥表面処理公司)
- 2003 UBMめっきライン導入、アスカ塾開校
- 2006 ISO14001認証取得
- 2013 バックメタルライン導入
- 2016 阪(和彦)会長就任、阪(文孝)社長就任
- 2017 電解バックメタル2号機導入
- 2018 ワンストップサービス装置、UBM4号機(自動機)導入
ISO14001:2015年版認証取得
- 2019 UBMめっき4号機(自動機)導入



環境方針

当社は「心を高め、経営を伸ばす」の経営理念のキーワードのもと、2020年度も「安全で環境と共生する会社」を事業方針に据え、環境活動の充実に取り組みました。

【適用範囲】

1. 登録組織名称：アスカコーポレーション株式会社
(所在地、活動内容は会社概要に記載)
2. 組織及び対象者の範囲：当社のすべての組織及び従業員
(派遣社員、パート等を含む)に適用する。
3. 影響を及ぼすことができる範囲：黍田工業団地、外注先、供給者、請負業者、他

環境方針

1、経営理念

キラリ！ 人、技術、未来、そして自然！
人が輝き、技術が輝く、そして未来を輝かせたい。またキラリ輝くアスカの
表面処理技術によって、ユーザー商品の品質と未来技術を支え、
企業として、永続的に輝き続けたいのです。

2、環境方針

従業員一人一人が企業活動のあらゆる面で、SDGsの主旨に沿って、
地球環境の保全に努め、豊かで安全な社会の構築に貢献することを目指して
行動します。

3、行動指針

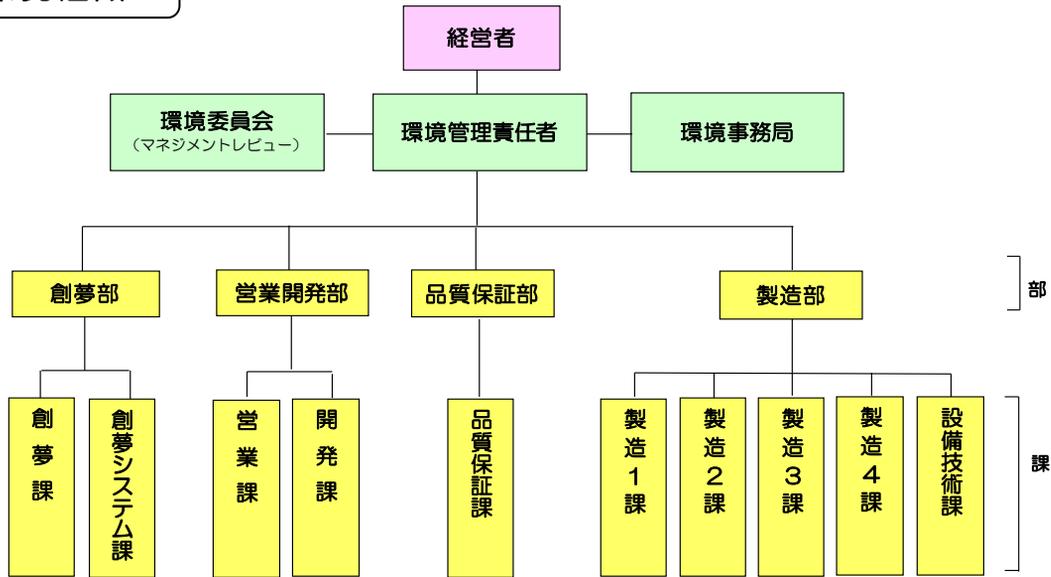
当社では、独自に培った技術を駆使し、半導体ウエハやリードフレーム及び
その他の電子部品の表面処理を実施しており広く社会のくらしをサポート
しております。しかし、その加工や開発の過程では少なからず環境に影響
を与えていることを認識し、次に掲げる環境活動を展開します。

- 1) 私たちは当社が環境に与える影響を的確に捉え、技術的、経済的な
可能性を考慮して、次の事項につき環境目的、目標を設定し、環境
負荷の低減、環境汚染の予防及び環境保護に努めます。
 - ① 省エネルギー、省資源の推進
 - ② 工程の改善による材料の削減
 - ③ 地域社会との環境調和
 - ④ 排水基準の遵守
- 2) 私たちは環境保全の仕組みについて、定期的に環境目的目標の
達成度をレビューし、環境保全活動の継続的な改善に努めます。
- 3) 私たちは環境法規制及び当社が同意した協定等その他の基準を
順守します。
- 4) 私たち組織で働くすべての者はCSR意識の向上に努め、積極的に
地域の環境活動に参画し、地域住民との交流を図ります。
- 5) 私たちはこの環境方針を内外に公表し、要求があったときはいつでも
外部に公表できるようにします。

アスカコーポレーション株式会社
代表取締役 社長 阪 文孝

環境マネジメント

環境組織



ISO14001定期審査

当社は、2006年3月に環境国際規格であるISO14001環境マネジメントシステムの認証を取得、2017年に2015年版移行審査を受審しており、各審査でも重大な不適合の発生はありません。今後も環境MSのパフォーマンスや有効性の向上に努力して行く所存です。

年度	カテゴリA	カテゴリB	改善の機会	グッドポイント	ストロングポイント
2006年(1st/2ndステージ)	0	1	20	0	0
~~~~~					
2017年(2015年版移行審査)	0	0	5	1	0
2018年(更新審査)	0	0	14	2	0
2019年(定期審査)	0	0	6	1	0
2020年(定期審査)	0	1	6	2	0
2021年(更新審査)	0	0	15	2	0



<ISO14001:2015(JQA)>

# 環境目標 2020年度実績

当社の活動から生ずる環境影響を低減する手段として、ISO14001に適合した環境マネジメントシステムに基づき環境目標を策定し推進しています。

下表は2020年度の環境目標に対する実績です。(2020年度 = 51期)  
右欄には、環境目標とSDGsの関連を表しています。

環境方針	環境目標 (51期)	実績	評価	SDGsとの関連
省エネルギー	電気使用量の削減 計画値比0.1%削減	計画値比4.3%削減	○ 達成	7 気候変動への適応力強化 9 産業と資源効率の向上 13 気候変動に具体的な対策を
省資源	めっき薬品使用量の削減 前期比 0.1%削減	前期比 0.26%削減	○ 達成	9 産業と資源効率の向上 12 つくばないで済ませよう 17 自然資源を持続的に活用しよう
地域社会との環境調和	植栽活動 (緑地エリアの下草刈、枝の剪定) 4回以上/年	4回/年 実施	○ 達成	15 陸域生態系保護
	納涼祭の開催 (8月開催) 1回/年	新型コロナウイルスの影響により中止	—	3 気候変動に順応し強さを高める 17 パートナーシップ (目標を達成しよう)
	めっき組合会合参加 4回以上/年 工業団地協議会出席 1回以上/年	めっき組合会合参加 7回/年 参加 工業団地協議会出席 2回 出席	○ 達成	17 パートナーシップ (目標を達成しよう)
	のおがた夏祭り、チューリップフェア協賛・参画	のおがた夏祭り、チューリップフェア 新型コロナウイルスの影響により中止 (チューリップフェア協賛のみ実施)	—	15 陸域生態系保護 17 パートナーシップ (目標を達成しよう)
	ペットボトルキャップ回収	ペットボトルキャップ 3,870個回収 2021年5月に回収分を寄付先へ発送	○ 達成	3 気候変動に順応し強さを高める
	環境年報の発行・公開 1回/年	2021年1月 環境年報公開	○ 達成	4 質の高い教育をみんなに
環境保全活動	環境クレーム「0」	環境クレーム 0件	○ 達成	6 安全な水とトイレを世界中に 11 持続可能な消費と生産
環境法規制の順守	環境法規制に関連する届出100%実施	届出100%実施	○ 達成	16 平和と公正を世界に広げよう 17 パートナーシップ (目標を達成しよう)

**持続可能な開発目標 (SDGs)** とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。

17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない (leave no one behind)」ことを誓っています。

SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル (普遍的) なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。



当社は経営理念の「**キラリ 人、技術、未来 そして自然**」をキーワードとして、国際社会全体の目標達成に向け、SDGsの取組みを事業活動に取り入れ、持続可能な企業を目指します。

# 環境負荷実績

## ◆ 電気使用量



電気使用量は原単位管理を実施しており、2020年度はインフラ装置の集約やインバーターの設置などによる節電対策、及び生産性向上による電気使用量の削減に努め、環境目標(前頁)を達成することができています。

毎月実施している環境委員会では、前月度の電気・用水使用量の実績報告を行っています。

## ◆ 地球温暖化環境負荷(CO₂排出量)



温室効果ガスは大気圏にあり、地表から放出された赤外線の一部を吸収することにより、温室効果をもたらす気体で、地球温暖化の主な原因とされています。

人間活動によって増加した主な温室効果ガスには二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、フロンガスがあります。

二酸化炭素(CO₂)は地球温暖化に及ぼす影響が最も大きい温室効果ガスです。

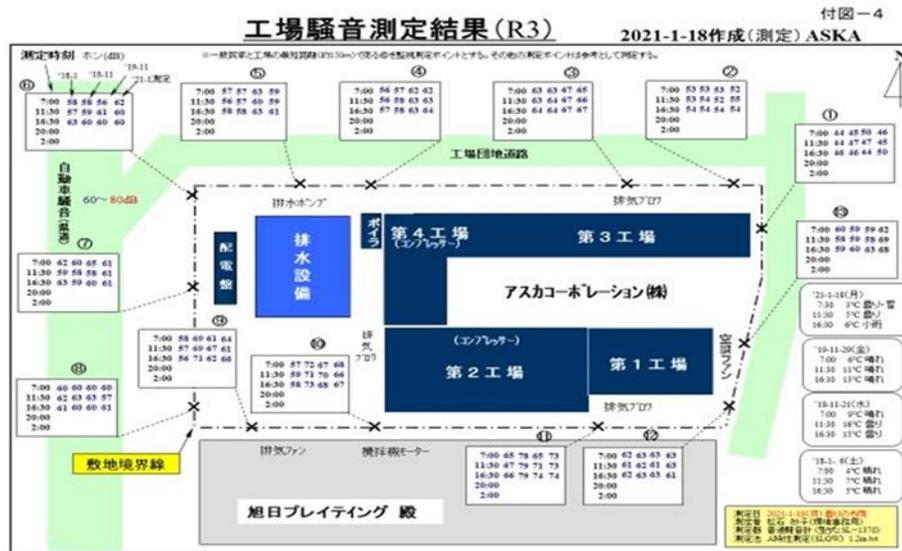
二酸化炭素はおもに化石燃料(石炭、石油、天然ガスなど)を燃焼させると発生します。例えば、私たちの生活に不可欠な電気などのエネルギーを作るには、大量の化石燃料が使われており、大量のCO₂が排出されています。

当社のCO₂排出の最大エネルギー源は電気で、ASKA全体の約98%を占めています。電気使用量を削減することで、地球温暖化防止(CO₂排出量の削減)に努めています。

# 法令順守

## ◆ 騒音

事業活動で発生する「騒音」については、直方市の告示で第3種地域に該当しており、1回/年、定期測定を実施し、規制基準の遵守に努めております。測定結果から全く問題ないレベルであることを確認しています。



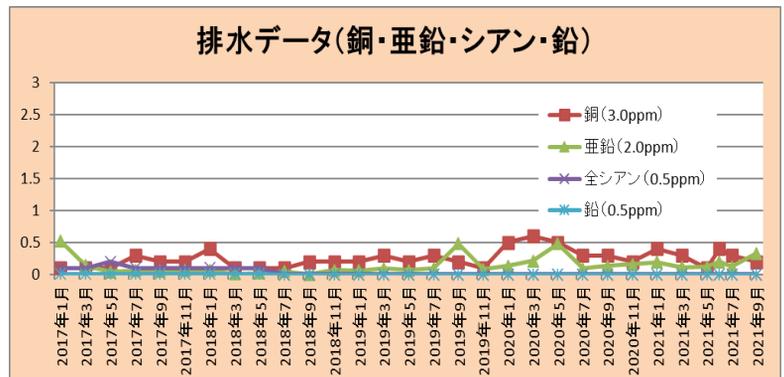
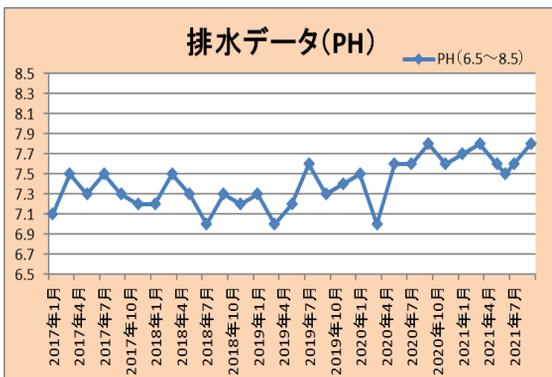
## ◆ 水質管理

水質汚濁防止法に係る「特定施設」を保有しており、各ラインからの排水は当社の排水処理設備にて処理されます。

工場の排水は24時間リアルタイムで管理されており、直方市との公害防止協定で締結した15項目の規制基準の遵守に努めております。規制値違反、外部環境クレーム(苦情)等の発生ゼロを継続しております。



<写真は排水処理設備全景>



# 責任ある鉱物調達（紛争鉱物）への対応



当社は、企業の社会的責任（CSR）を推進していくため、紛争鉱物調達方針を掲げ、紛争鉱物対応方針に沿った取り組みを実施しております。

## 『紛争鉱物』とは

コンゴ民主共和国およびその周辺9ヶ国の紛争地域で産出される鉱物「**スズ・タンタル・タングステン・金（3TG）**」の一部は、その採掘において深刻な人権侵害や環境破壊などをもたらし、あるいは武装勢力の資金源となり、「**紛争鉱物**」として国際的な問題となっています。

### 紛争鉱物対応方針

当社は、コンゴ民主共和国及びその周辺諸国で採掘され、人権侵害、環境破壊等を引き起こす武装勢力の資金源となる紛争鉱物（3TG：タンタル、錫、タングステン、金）を使用しません。また調達取引先と協力して、**RMI**※が提供している「**CMRT**（Conflict Minerals Reporting Template：紛争鉱物報告テンプレート）」を使用し、サプライチェーンに対する鉱物の原産地と流通経路についての調査を適切に実施します。

※RMI：Responsible Minerals Initiative（責任ある鉱物イニシアチブ）



当社は、市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力及び団体に対しては一切の妥協を許さず、関係を排除します。

## 紛争鉱物調査結果

調達取引先に協力頂き、紛争鉱物調査を行った結果、紛争鉱物の使用はございませんでした。2019年度のお客様からの紛争鉱物調査依頼に対する回答率は100%となっています。今後もお取引先様の協力のもと、責任ある調達に向けた取り組みを推進していきます。

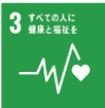
# 地域との調和(コミュニケーション)

当社は、地域社会とのコミュニケーションを通じて相互が環境への認識を深め、広く環境保全に貢献する為に、以下の様な活動を行っています。



## 『のおがたわくわーく』の参画

環境目標以外にも、直方市が主催する小中学生を対象とした職場体験イベント『のおがたわくわーく』に参画し、子供たちにめっき体験をして頂いています。



## 納涼祭の開催

当社では、毎年8月に納涼祭を開催し、地域住民の方々とのコミュニケーションを図っています。従業員による店舗の売上は全て近くの養護学校へ寄付しています。



## 地域行事の協賛・参画

当社は遠賀川河川敷で毎年行われる直方市が主催している『直方チューリップフェア』に協賛・参画しています。

球根植えや草抜きボランティア、イベント後は球根掘り等に参加しており、球根掘りで頂いた球根は、アスカチューリップとして大切に育て、毎年きれいに花を咲かせてくれています。

2021年は、前年に続き、新型コロナウイルスの影響によりイベント自体は開催中止となってしまいましたが、例年通り、球根植え、草抜きボランティア、球根掘りに参加させて頂きました。今年黄色いチューリップを咲かせてくれました。



# 地域との調和(コミュニケーション)



## 地域の清掃活動の参加

2020年10月に直方市直鞍産業振興センター(ADOX) 向かいの市道及び新幹線高架下の清掃活動を行いました。

この地域の清掃活動は毎年行っており、清掃活動を通して、地域の方々との交流も図っています。

清掃活動の結果は、社長自らが従業員に向けて定期的に配信しているCSRニュースで記事に取り上げ、近年騒がれているマイクロプラスチック問題を始めとする環境問題に対する意識向上につなげています。



## 工業団地の清掃

毎朝、朝礼後に分担して10分間、工業団地入口坂道スロープ周辺を清掃しています。坂道・側溝の掃き掃除や草刈り等を実施しており、清掃活動を通して美化意識の向上にもつながっています。

2020年、2021年は、会長が自ら草刈り機や剪定鋏を使用して構内及び工業団地敷地坂道の除草及び美化活動を行いました。



# 年次とびくす(防災訓練)



## 防災訓練とKYT

当社では毎年秋に、隣接の工業団地企業さんとも合同で全従業員参加の総合防災訓練を実施しております。2020年は地震発生によるタンク破損による薬品漏洩、設備火災を想定したBCP対応訓練を行いました。

訓練後はすぐに反省会を実施し、反省点を次回の訓練に必ず盛り込むようにしています。また、毎月開催している安全衛生委員会で訓練の結果報告と課題に対する対策の進捗確認を行い、BCPの改善に繋げています。

### 防災訓練風景写真



<避難本部集合>



<救助活動>



<漏洩対策>



<初期消火活動>

● 2020-11-16(土) 訓練実施



## 防災グッズの見直し

2020年度は防災訓練の反省会で挙げた意見を基に、防災グッズの見直しを行いました。設置場所を増やし、薬品漏洩を考慮した防災グッズを追加する等、中身を充実させました。



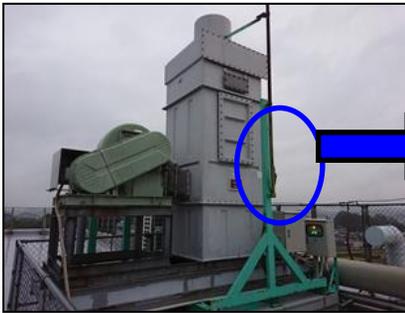
格納品目 (定数)	
① 土袋 15袋 (土袋BOX)	⑦ ちり紙 2個
② 土袋袋 10枚入×8袋	⑧ 柄杓 1本 (プラスチック)
③ 土袋 (水用) 10枚	⑨ 保護メガネ 3個
④ 薬品吸着マット 10枚	⑩ 耐薬手袋 3双
⑤ 油吸着マット 5枚以上	⑪ 軍手 12双
⑥ ウェス (布) 4袋	⑫ 懐中電灯 1個

# 年次とびっくす (2020年度)

7 エネルギーをみんなに  
そしてクリーンに



## インフラ装置の集約、インバーターの設置 (2020-9)



スクラバー



インバーターの設置

コンプレッサーの配管見直しを行い集約したことでコンプレッサーを1台停止することが出来、電気使用量の削減を図りました。

また、スクラバーにインバーターを設置したことで、省エネ効果を得ることが出来ました。

6 安全な水とトイレ  
を世界中に



14 海の豊かさを  
まもろう



## 排水処理施設 沈殿槽の更新 (2020-10)

排水処理施設の沈殿槽2基を老朽化に伴い、更新しました。  
今後も排水処理施設の定期点検の実施と、適切な設備更新を行い、安全で安心頂ける排水処理施設を維持していきます。



3 すべての人に  
健康と福祉を



10 人や国の不平等  
をなくそう



## ペットボトル回収活動

2020年度より、ペットボトルキャップ（エコキャップ）の回収活動に取り組んでいます。

回収したエコキャップは、特定非営利活動法人を通じて、再資源化企業に売却され、売却益の一部をJCV（NPO法人「世界のこどもにワクチンを」）に寄付しております。

2020年度は3,870個のエコキャップを回収し、4.5人分のワクチンを提供することが出来ました。



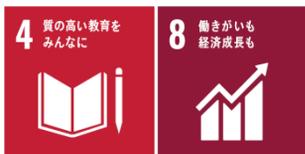
エコキャップ2kg（860個）でポリオワクチン1人分

# SDGsの取り組み（その他）

環境目標に掲げている項目以外でも、SDGsにつながる取り組みを行っています。



- ・職場の改善
- ・人間ドッグ受診の推奨
- ・健康診断の充実（2回/年）  
婦人科検診の実施（1回/年）  
ストレスチェックの実施（1回/年）
- ・インフルエンザ予防接種の実施
- ・屋内全面禁煙



- ・外国人技能実習生の受け入れ
- ・高校生、高専生等のインターンシップ受け入れ
- ・CSRニュースの定期配信



- ・高齢者雇用の促進
- ・地元スポーツチームの協賛  
（アビスパ福岡、ギラヴァンツ北九州、ライジングゼファー福岡）
- ・従業員へのスポーツ観戦、演奏会チケットの提供
- ・従業員が所属している吹奏楽団の後援会入会



## アスカコーポレーションのオールスターキャストです



2021-1-5 撮影

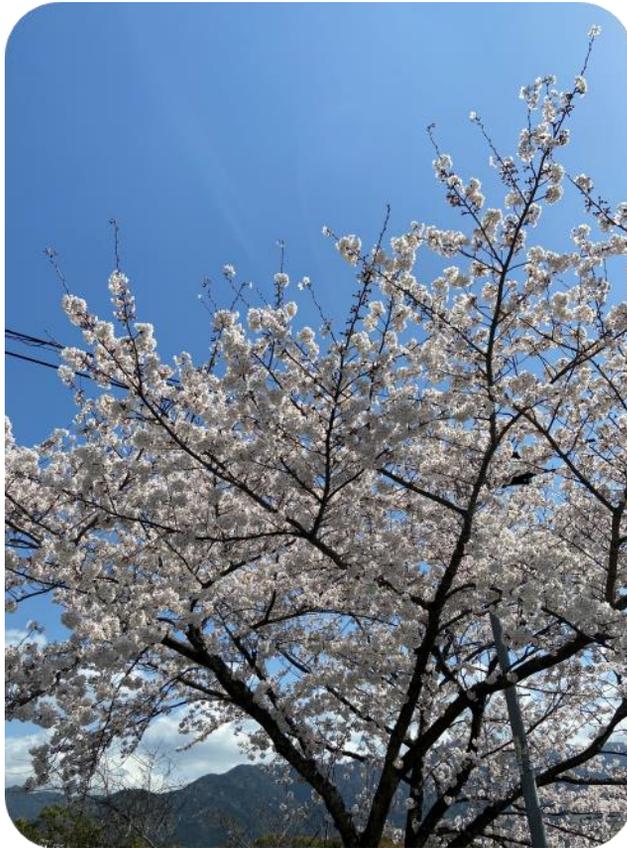
### ■ 編集後記

「環境年報2021」をお読み頂きありがとうございます。

昨年から今年にかけて、新型コロナウイルス感染拡大による影響で、様々なイベントが中止となりましたが、社員一同、気持ちを一つにして、コロナ禍でも出来ることを常に考えながら活動を進めて参りました。1日も早く収束することを願っております。

記事に関するご質問やご感想、また弊社に対してのご要望などがございましたら裏面記載の連絡先までご一報ください。ありがとうございました。





## **アスカコーポレーション株式会社**

品質保証部 環境事務局

〒 822-0007 福岡県直方市大字下境字黍田427-8

TEL 0949-23-0331 FAX 0949-28-2941

URL <http://www.aska-plating.co.jp>